財 務 諸 表 等

平成２９年度
（第１４期事業年度）

自：平成２９年　４月　１日
至：平成３０年　３月３１日

独立行政法人　国立病院機構

目　　次

１．貸借対照表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

２．損益計算書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

３．キャッシュ・フロー計算書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７

４．損失の処理に関する書類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９

５．行政サービス実施コスト計算書　・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０

６．注記事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１

７．附属明細書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２０
（１）固定資産の取得、処分、減価償却費（「第８７特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第９１資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）及び減損損失累計額の明細
（２）たな卸資産の明細
（３）長期貸付金の明細
（４）長期借入金の明細
（５）引当金の明細
（６）貸付金等に対する貸倒引当金の明細
（７）退職給付引当金の明細
（８）資産除去債務の明細
（９）資本金及び資本剰余金の明細
（１０）積立金の明細
（１１）運営費交付金債務及び当期振替額等の明細
（１２）運営費交付金以外の国等からの財源措置の明細
（１３）役員及び職員の給与の明細
（１４）科学研究費補助金の明細
（１５）開示すべきセグメント情報
（１６）関連公益法人の状況
（１７）上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細

８．添付資料
（１）決算報告書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２９
（２）監事の意見　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３４
（３）会計監査人の意見　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３５
（４）施設別財務書類　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　別冊１
（５）事業報告書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　別冊２

財 務 諸 表

貸 借 対 照 表

（平成３０年３月３１日）

【独立行政法人 国立病院機構】　　（単位：円）

科　　目	金	額		
資産の部				
Ⅰ　流動資産				
現金及び預金		110,176,220,968		
医業未収金	159,988,579,401			
貸倒引当金	△ 485,175,223	159,503,404,178		
未収金		4,934,051,642		
医薬品		3,869,949,491		
診療材料		1,847,827,422		
給食用材料		185,644,367		
貯蔵品		616,067,440		
前払費用		151,717,449		
未収収益		481,483		
その他流動資産		776,331,837		
流動資産合計			282,061,696,277	
Ⅱ　固定資産				
1　有形固定資産				
建物	806,128,186,605			
減価償却累計額	△ 345,747,109,350			
減損損失累計額	△ 10,379,663,374	450,001,413,881		
構築物	37,307,952,302			
減価償却累計額	△ 19,271,142,151			
減損損失累計額	△ 555,971,998	17,480,838,153		
医療用器械備品	258,321,396,602			
減価償却累計額	△ 204,887,204,214			
減損損失累計額	△ 70,962,444	53,363,229,944		
その他器械備品	56,544,623,442			
減価償却累計額	△ 37,324,456,619			
減損損失累計額	△ 18,739,079	19,201,427,744		
車両	1,347,549,252			
減価償却累計額	△ 1,124,971,091			
減損損失累計額	△ 207,828	222,370,333		
放射性同位元素	52,095,452			
減価償却累計額	△ 30,541,692	21,553,760		
土地	469,342,975,373			
減損損失累計額	△ 117,492,487	469,225,482,886		
建設仮勘定		12,564,636,982		
その他有形固定資産		76,439,400		
有形固定資産合計		1,022,157,393,083		
2　無形固定資産				
特許権		55		
ソフトウェア		18,250,763,252		
電話加入権		197,084,180		
その他無形固定資産		24,252,679		
無形固定資産合計		18,472,100,166		
3　投資その他の資産				
長期貸付金		2,371,388,763		
破産更生債権等	1,833,737,025			
貸倒引当金	△ 1,833,737,025	0		
長期前払費用		64,949,768		
災害備蓄在庫		221,180,951		
その他投資資産		19,382,500		
投資その他の資産合計		2,676,901,982		
固定資産合計			1,043,306,395,231	
資産合計				1,325,368,091,508

（単位：円）

科目	金額			
負債の部				
Ⅰ 流動負債				
運営費交付金債務		7,028,596,836		
預り補助金等		123,004,286		
預り寄附金		893,539,901		
一年以内返済長期借入金		53,968,125,546		
買掛金		39,715,121,921		
未払金		71,536,244,386		
一年以内支払リース債務		973,660,370		
未払費用		279,519,317		
未払消費税等		414,641,500		
預り金		4,044,862,278		
前受収益		17,922,083		
引当金				
賞与引当金	29,551,232,698			
損害補償損失引当金	1,135,726,363	30,686,959,061		
一年以内履行資産除去債務		77,328,578		
その他流動負債		269,532,525		
流動負債合計			210,029,058,588	
Ⅱ 固定負債				
資産見返負債				
資産見返運営費交付金	669,943,339			
資産見返補助金等	18,999,907,859			
資産見返寄附金	1,540,774,983			
資産見返物品受贈額	10,580,356	21,221,206,537		
長期借入金		408,214,147,702		
長期未払金		545,817,079		
引当金				
退職給付引当金		263,680,028,046		
リース債務		978,550,627		
資産除去債務		2,599,293,926		
その他固定負債		332,651,014		
固定負債合計			697,571,694,931	
負債合計				907,600,753,519
純資産の部				
Ⅰ 資本金				
政府出資金		202,905,911,289		
資本金合計			202,905,911,289	
Ⅱ 資本剰余金				
資本剰余金		230,942,523,498		
損益外減価償却累計額(－)		△ 4,953,104,653		
損益外減損損失累計額(－)		△ 7,562,367		
資本剰余金合計			225,981,856,478	
Ⅲ 繰越欠損金				
当期未処理損失		△ 11,120,429,778		
（うち当期総損失）		（△ 7,986,610,058）		
繰越欠損金合計			△ 11,120,429,778	
純資産合計				417,767,337,989
負債純資産合計				1,325,368,091,508

損　益　計　算　書

（平成２９年４月１日～平成３０年３月３１日）

【独立行政法人 国立病院機構】　（単位：円）

科　　目	金	額		
経常収益				
Ⅰ　診療業務収益				
医業収益				
入院診療収益	731,677,475,582			
室料差額収益	13,040,176,697			
外来診療収益	194,575,681,546			
保健予防活動収益	3,926,133,192			
その他医業収益	5,544,264,811			
保険等査定減（－）	△ 3,346,002,844	945,417,728,984		
運営費交付金収益				
資産見返運営費交付金戻入	21,347,595	21,347,595		
補助金等収益				
補助金等収益	2,221,734,966			
資産見返補助金等戻入	1,990,248,979	4,211,983,945		
寄附金収益				
寄附金収益		178,166,805		
資産見返物品受贈額戻入		806,871		
施設費収益		1,622,509		
その他診療業務収益		5,399,497,799		
診療業務収益合計			955,231,154,508	
Ⅱ　教育研修業務収益				
看護師等養成所収益		4,225,623,887		
研修収益		321,501,471		
運営費交付金収益				
運営費交付金収益		172,840,777		
補助金等収益				
補助金等収益	566,617,816			
資産見返補助金等戻入	13,802,706	580,420,522		
寄附金収益				
寄附金収益		851,526		
その他教育研修業務収益		49,620,952		
教育研修業務収益合計			5,350,859,135	
Ⅲ　臨床研究業務収益				
研究収益		7,634,700,880		
運営費交付金収益				
運営費交付金収益	2,320,557,902			
資産見返運営費交付金戻入	122,496,612	2,443,054,514		
補助金等収益				
補助金等収益	101,618,759			
資産見返補助金等戻入	127,574,161	229,192,920		
寄附金収益				
寄附金収益	391,861,135			
資産見返寄附金戻入	17,890,425	409,751,560		
その他臨床研究業務収益		94,766,004		
臨床研究業務収益合計			10,811,465,878	
Ⅳ　その他経常収益				
財務収益				
受取利息		1,878,058		
土地建物等貸付料収入		1,110,119,747		
宿舎貸付料収入		826,519,522		
運営費交付金収益				
運営費交付金収益	10,153,737,599			
資産見返運営費交付金戻入	46,135,486	10,199,873,085		
補助金等収益				
補助金等収益	275,597,575			
資産見返補助金等戻入	1,611,391	277,208,966		
寄附金収益				
寄附金収益		1,740,000		
その他経常収益		1,469,524,423		
その他経常収益合計			13,886,863,801	
経常収益合計				985,280,343,322

【独立行政法人 国立病院機構】 （単位：円）

科目	金額			
経常費用				
Ⅰ 診療業務費				
給与費				
給料	337,828,788,691			
賞与	56,748,083,631			
賞与引当金繰入額	25,101,261,205			
退職給付費用	65,330,150,527			
法定福利費	24,753,151,693	509,761,435,747		
材料費				
医薬品費	149,099,261,289			
診療材料費	80,981,793,019			
医療消耗器具備品費	3,573,296,020			
給食用材料費	11,232,998,886	244,887,349,214		
委託費				
検査委託費	6,329,296,027			
給食委託費	9,520,032,889			
寝具委託費	1,533,843,375			
医事委託費	11,019,979,370			
清掃委託費	3,941,355,106			
保守委託費	4,044,751,065			
その他の委託費	13,391,640,797	49,780,898,629		
設備関係費				
減価償却費	64,223,689,652			
修繕費	6,536,583,094			
器機賃借料	13,382,627,222			
地代家賃	566,272,975			
固定資産税等	292,596,598			
器機保守料	17,262,432,235			
器機設備保険料	577,410			
車両関係費	97,623,788			
ＰＦＩ費用	3,708,764	102,366,111,738		
研究研修費		381,282,803		
経費				
福利厚生費	362,330,169			
旅費交通費	1,750,404,573			
通信費	1,468,209,507			
消耗品費	6,157,032,621			
消耗器具備品費	2,390,618,699			
水道光熱費	18,461,984,457			
患者諸費	1,259,744,407			
租税公課	1,661,373,150			
医業貸倒損失	6,191,416			
貸倒引当金繰入額	216,678,653			
低価法評価損	11,511,165			
その他	3,628,923,772	37,375,002,589		
診療業務費合計			944,552,080,720	
Ⅱ 教育研修業務費				
看護師等養成所運営費				
給与費				
給料	3,044,634,763			
賞与	577,066,127			
賞与引当金繰入額	256,138,524			
退職給付費用	632,645,193			
法定福利費	215,933,997	4,726,418,604		
経費				
福利厚生費	1,526,209			
臨床実習協力費	78,939,358			
旅費交通費	74,405,724			
通信費	30,881,883			
消耗品費	125,583,690			
消耗器具備品費	60,416,579			

（単位：円）

科目	金額			
生徒関連諸費	146,023,334			
水道光熱費	229,745,877			
減価償却費	975,521,235			
その他	401,451,276	2,124,495,165		
研修活動費				
給与費				
給料	280,068,186			
賞与	27,095,617			
賞与引当金繰入額	11,306,544			
退職給付費用	15,417,411			
法定福利費	10,783,483	344,671,241		
経費				
福利厚生費	106,926			
旅費交通費	326,101,820			
通信費	11,286,988			
消耗品費	21,086,650			
消耗器具備品費	22,393,259			
水道光熱費	69,832,135			
減価償却費	208,313,487			
その他	157,720,671	816,841,936		
教育研修業務費合計			8,012,426,946	
Ⅲ 臨床研究業務費				
給与費				
給料	4,743,911,768			
賞与	825,116,048			
賞与引当金繰入額	365,762,888			
退職給付費用	657,081,289			
法定福利費	435,311,547	7,027,183,540		
材料費				
医薬品費	675,338,181			
研究材料費	202,270,131			
研究用消耗器具備品費	213,704,362	1,091,312,674		
経費				
福利厚生費	1,876,979			
旅費交通費	846,362,101			
通信費	120,460,244			
消耗品費	454,176,263			
消耗器具備品費	792,067,389			
水道光熱費	176,250,767			
委託費	1,681,714,056			
減価償却費	734,805,793			
その他	1,063,272,693	5,870,986,285		
臨床研究業務費合計			13,989,482,499	
Ⅳ 一般管理費				
給与費				
給料	1,661,284,478			
役員報酬	71,003,400			
賞与	350,955,159			
賞与引当金繰入額	168,623,012			
退職給付費用	10,022,728,933			
法定福利費	155,420,378	12,430,015,360		
経費				
福利厚生費	6,343,822			
旅費交通費	134,935,213			
通信費	23,630,005			
消耗品費	53,642,463			
消耗器具備品費	90,989,041			
水道光熱費	26,902,071			
賃借料	24,917,169			

（単位：円）

科　　目	金	額		
租税公課	54,786,850			
減価償却費	73,061,793			
その他	186,230,761	675,439,188		
一般管理費合計			13,105,454,548	
V　その他経常費用				
減価償却費		73,256,883		
財務費用				
支払利息	3,710,480,620			
支払手数料	346,239,024	4,056,719,644		
その他経常費用		3,652,770,354		
その他経常費用合計			7,782,746,881	
経常費用合計				987,442,191,594
経常損失				△ 2,161,848,272
臨時利益				
固定資産売却益			34,794,425	
その他臨時利益			446,990,082	481,784,507
臨時損失				
固定資産売却損			7,277,471	
固定資産除却損			2,643,576,270	
固定資産減損損失			328,854,979	
損害補償損失引当金繰入額			222,036,891	
賠償金等負担額			557,140,666	
その他臨時損失			2,547,660,016	6,306,546,293
当期純損失				△ 7,986,610,058
当期総損失				△ 7,986,610,058

キャッシュ・フロー計算書

（平成２９年４月１日～平成３０年３月３１日）

【独立行政法人　国立病院機構】　（単位：円）

科　　目	金　　額
Ⅰ　業務活動によるキャッシュ・フロー	
診療業務活動によるキャッシュ・フロー	
医業収入	942,154,914,243
補助金等収入	3,632,915,440
補助金等の精算による返還金の支出	△ 9,119,559
寄附金収入	162,512,755
その他の収入	5,830,608,244
人件費支出	△ 489,830,135,885
材料の購入による支出	△ 243,993,021,883
その他の業務支出	△ 123,029,921,385
小計	94,918,751,970
教育研修業務活動によるキャッシュ・フロー	
看護師等養成による収入	4,222,814,436
研修による収入	320,102,006
運営費交付金収入	172,840,777
補助金等収入	596,947,441
寄附金収入	4,282,481
その他の収入	501,639,169
人件費支出	△ 4,865,678,183
その他の業務支出	△ 2,253,919,911
小計	△ 1,300,971,784
臨床研究業務活動によるキャッシュ・フロー	
研究による収入	7,422,008,817
運営費交付金収入	2,361,529,862
補助金等収入	156,440,648
補助金等の精算による返還金の支出	△ 27,000
寄附金収入	333,544,047
その他の収入	92,587,107
人件費支出	△ 6,818,174,204
材料の購入による支出	△ 1,044,922,326
その他の業務支出	△ 5,216,610,115
小計	△ 2,713,623,164
その他の業務活動によるキャッシュ・フロー	
運営費交付金収入	11,916,545,361
補助金等収入	251,054,455
寄附金収入	1,740,000
その他の収入	3,817,204,899
人件費支出	△ 31,828,246,869
その他の業務支出	△ 10,256,884,754
小計	△ 26,098,586,908
利息の受取額	1,897,784
利息の支払額	△ 3,831,659,473
業務活動によるキャッシュ・フロー	60,975,808,425
Ⅱ　投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の戻入による収入	14,000,000,000
定期預金の預入による支出	△ 23,000,000,000
有価証券の売却による収入	9,000,000,000
有形固定資産の売却による収入	375,412,403
有形固定資産の取得による支出	△ 69,706,236,643
無形固定資産の取得による支出	△ 5,808,401,418
施設費による収入	17,501,000
資産除去債務の履行による支出	△ 56,841,486
貸付金の回収による収入	219,194,612

【独立行政法人　国立病院機構】

（単位：円）

科　　目	金　　額
貸付金による支出	△ 904,965,879
その他の投資活動による収入	361,000
その他の投資活動による支出	△ 42,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 75,864,018,411
Ⅲ　財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	55,800,000,000
長期借入金の返済による支出	△ 48,576,906,546
リース債務償還による支出	△ 1,431,157,830
PFI債務償還による支出	△ 46,607,826
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,745,327,798
Ⅳ　資金増加額	△ 9,142,882,188
Ⅴ　資金期首残高	110,319,103,156
Ⅵ　資金期末残高	101,176,220,968

損失の処理に関する書類

【独立行政法人 国立病院機構】 （単位：円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ　当期未処理損失			△11,120,429,778
当期総損失	△7,986,610,058		
前期繰越欠損金	△3,133,819,720		
Ⅱ　次期繰越欠損金			△11,120,429,778

行政サービス実施コスト計算書

（平成２９年４月１日～平成３０年３月３１日）

【独立行政法人 国立病院機構】 （単位：円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ　業務費用			
（１）損益計算書上の費用			
診療業務費	944,552,080,720		
教育研修業務費	8,012,426,946		
臨床研究業務費	13,989,482,499		
一般管理費	13,105,454,548		
その他経常費用	7,782,746,881		
臨時損失	6,306,546,293	993,748,737,887	
（２）（控除）自己収入等			
診療業務収益	△950,995,393,588		
教育研修業務収益	△4,597,597,836		
臨床研究業務収益	△7,960,330,733		
その他経常収益	△3,409,781,750		
臨時利益	△58,832,157	△967,021,936,064	
業務費用合計			26,726,801,823
Ⅱ　損益外減価償却相当額			441,168,345
Ⅲ　損益外除売却差額相当額			100,935,376
Ⅳ　機会費用			
国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	6,052,328		
政府出資又は地方公共団体出資等の機会費用	193,117,896		199,170,224
Ⅴ　行政サービス実施コスト			27,468,075,768

注　記　事　項

Ⅰ．重要な会計方針

１．運営費交付金収益の計上基準

業務達成基準を採用しております。

２．減価償却の会計処理方法

（１）有形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりであります。

建　物	２	～	47年
構築物	２	～	68年
医療用器械備品	２	～	20年
その他器械備品	２	～	20年
車　両	２	～	６年
放射性同位元素	２	～	23年

また、特定の償却資産（独立行政法人会計基準第87）の減価償却相当額については、損益外減価償却累計額として資本剰余金から控除して表示しております。

（２）無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

なお、法人内利用ソフトウェアについては、法人内における利用可能期間（５年）に基づいております。

（３）リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

３．退職給付に係る引当金及び見積額の計上基準並びに退職給付費用の処理方法

役職員の退職給付に備えるため、役員については独立行政法人国立病院機構役員退職手当規程に基づく期末要支給額を、また、職員については当該事業年度末における退職給付債務及び恩給制度期間を有する退職職員の負担金である整理資源に関する債務の見込額に基づき計上しております。

ただし、独立行政法人化前に発生した役職員の退職給付のうち、運営費交付金により財源措置がなされる額については、退職給付に係る引当金は計上しておりません。

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については給付算定式基準によっております。

過去勤務費用は、その発生時の職員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により費用処理しております。

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における職員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(９～10年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。

４．貸倒引当金の計上基準

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

５．賞与引当金の計上基準

役員に対して支給する業績年俸及び職員に対して支給する賞与に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

６．損害補償損失引当金の計上基準

医療賠償等による損害賠償金の支払に備えるため、個別に発生可能性を検討し、その経過等の状況に基づき損失負担見込額を計上しております。

７．たな卸資産の評価基準及び評価方法

（１）医薬品

最終仕入原価法に基づく低価法

（２）診療材料

最終仕入原価法に基づく低価法

（３）給食用材料

最終仕入原価法に基づく低価法

（４）貯蔵品

金券類は個別法、その他は最終仕入原価法に基づく低価法

８．行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

（１）国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算方法

近隣の地代や賃貸料等を参考に計算しております。

（２）政府出資又は地方公共団体出資等の機会費用の計算に使用した利率

10年利付国債の平成30年３月末利回りを参考に0.045％で計算しております。

９．リース取引の処理方法

リース料総額が300万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

リース料総額が300万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

１０．消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。

１１．固定資産の減損の処理方法

固定資産の減損に係る会計基準（「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会　平成14年８月９日））および「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第６号　最終改正 平成21年３月27日）を適用しております。

また、独立行政法人国立病院機構の業務運営並びに財務及び会計に関する省令（平成16年厚生労働省令第77号）により、減価に対応すべき収益の獲得が予定されていないと認められる償却資産については、固定資産減損損失は計上せず、資産の減損額と同額を資本剰余金に対する控除として計上しております。

Ⅱ．貸借対照表

１．運営費交付金から充当されるべき退職一時金に係る退職給付引当金の見積額

68,062,840,550円

２．運営費交付金から充当されるべき退職共済年金に係る恩給負担金の見積額

122,210,000円

３．金融商品関係

（１）金融商品の状況に関する事項

当機構は、資金運用については預金及び公債に限定し、また、資金調達については財政融資資金からの借入及び財投機関債の発行によっております。

診療報酬債権に係る回収リスクは、収入管理事務要領等に沿ってリスク低減を図っております。また、投資有価証券は、独立行政法人通則法第47条の規定等に基づき、公債のみを保有することとし株式等は保有しておりません。

借入金等の使途は事業投資資金であり、主務大臣により認可された資金計画に沿って、資金調達を行っております。

（２）金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：百万円）

区　　分	貸借対照表計上額	時　　価	差　　額
(1)現金及び預金	110,176	110,176	－
(2)医業未収金	159,988	159,988	－
(3)買掛金	(39,715)	(39,715)	－
(4)未払金	(71,536)	(71,536)	－
(5)長期借入金	(462,182)	(471,715)	(9,533)
(6)リース債務	(1,952)	(1,951)	(△1)

（注１）負債に計上されているものは（）で示しております。

（注２）金融商品の時価の算定方法並びに有価証券等に関する事項

（１）現金及び預金、（２）医業未収金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

（３）買掛金、（４）未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額に等しいことから、帳簿価額によっております。

（５）長期借入金、（６）リース債務

これらの時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

なお、リース債務の貸借対照表計上額は利子を含んでおります。

Ⅲ．損益計算書

１．国又は地方公共団体からの受託による収益の科目別内訳

①　その他診療業務収益	468,031,054円
②　研修収益	243,262,360円
③　研究収益	29,714,019円
合　計	741,007,433円

２．受取利息の内訳

①　受取利息	1,463,811円
②　有価証券利息	414,247円
合　計	1,878,058円

３．固定資産売却益の内訳

①　医療用器械備品	33,215,365円
②　その他器械備品	1,133,306円
③　車　両	445,754円
合　計	34,794,425円

４．固定資産売却損の内訳

①　建　物	7円
②　構築物	1,111,274円
③　医療用器械備品	5,976,774円
④　土　地	189,416円
合　計	7,277,471円

５．固定資産減損損失

（１）減損損失の金額及び内訳

（単位：円）

用　途	場　所	減　損　損　失		
		建　物	そ の 他	計
遊休資産 （病棟等）	堺市北区長曽根町 1180　外15箇所	166,278,434	162,576,545	328,854,979

（２）減損損失の認識に至った経緯

上記遊休資産については、将来の使用が見込まれておらず、回収可能価額が帳簿価額を下回っているため減損損失を認識しました。

（３）資産のグルーピングの方法

当機構は、機構全体が一体となって政策医療を担っていることから、全体で一つの資産グループとしております。ただし、将来の使用が見込まれていない遊休資産及び事業の大幅な縮小や廃止に関する意思決定済みの資産については、それぞれ個別にグルーピングしております。

（４）回収可能価額の算定方法

回収可能価額は、主として不動産鑑定評価額に基づく正味売却価額により算定しております。

６．その他臨時利益の内訳

①　運営費交付金（医療廃棄物等処理）の収益化	422,952,350円
②　その他	24,037,732円
合　計	446,990,082円

７．その他臨時損失の内訳

①　過年度の資産除去債務費用（アスベスト除去費用）	819,585,817円
②　医療廃棄物等処理・埋蔵文化財調査費用	729,596,619円
③　過年度の診療報酬請求に係る自主返還額等	355,571,295円
④　その他	642,906,285円
合　計	2,547,660,016円

Ⅳ．キャッシュ・フロー計算書

１．資金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金勘定	110,176,220,968円
現金及び預金勘定のうち定期預金	△　9,000,000,000円
資金期末残高	101,176,220,968円

２．重要な非資金取引

ファイナンス・リースによる資産の取得	25,051,680円

Ⅴ．退職給付引当金

１．採用している退職給付制度の概要

当機構は役職員の退職給付に充てるため、退職一時金制度を設けております。

２．退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	平成30年３月31日現在
期首における退職給付債務	181,836,279,293 円
勤務費用	19,920,857,920 円
利息費用	908,812,915 円
数理計算上の差異の当期発生額	△12,596,440,872 円
退職給付の支払額	△10,928,280,327 円
期末における退職給付債務	179,141,228,929 円

３．退職給付債務と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

	平成30年３月31日現在
退職給付債務	179,141,228,929 円
未認識過去勤務費用（注）	7,859,068,692 円
未認識数理計算上の差異	5,949,544,073 円
整理資源負担金	70,730,186,352 円
退職給付引当金	263,680,028,046 円

（注）平成25年１月１日から国家公務員退職手当法等の一部を改正する法律（平成24年法律第96号）及び平成27年４月１日から独立行政法人国立病院機構職員退職手当規程の適用を受けたため、過去勤務費用が発生しております。

４．退職給付に関連する損益

	平成30年３月31日現在
勤務費用	19,920,857,920 円
利息費用	908,812,915 円
過去勤務費用の当期の費用処理額	△1,761,448,655 円
数理計算上の差異の当期の費用処理額	600,892,671 円
運営費交付金で財源措置された費用	9,634,485,571 円
退職給付費用	29,303,600,422 円

（注）　上記退職給付費用には他法人へ出向している職員に係る分として、27,104,894円が含まれております。

（注）上記退職給付費用以外に共済組合負担金、長期公経済負担金等の退職給付費用として、47,374,135,135円を計上しております。

５．数理計算上の計算の基礎に関する事項

期末における主要な数理計算上の計算基礎（加重平均で表している。）

割引率　0.5％

Ⅵ．資産除去債務関係

１．資産除去債務の概要

当機構は労働安全衛生法等の規定により生ずる債務として、所有する建物の解体時におけるアスベストの除去費用、医療用器械備品等の廃棄時における放射性同位元素及び放射化物の除去費用及び照明装置の廃棄時におけるポリ塩化ビフェニルの除去費用につき資産除去債務を計上しております。

２．資産除去債務の金額の算定方法

資産除去債務の見積もりにあたり、取得時からの使用見込期間を有形固定資産の耐用年数を参考に２年から41年と見積もっております。割引率は当該期間を勘案し、使用見込期間に見合う財政投融資及び国債の利回りを参考に算定しており、0.010％から2.342％となっております。

３．当事業年度における資産除去債務の総額の増減

期首残高	1,836,223,860 円
有形固定資産の取得等に伴う増加額	885,640,912 円
時の経過による調整額	24,825,805 円
資産の除去等による履行額	△70,068,073 円
期末残高	2,676,622,504 円

Ⅶ．不要財産に係る国庫納付関係

①	資産の種類		土地・建物等
②	資産名称		旧西甲府病院
③	帳簿価額	（１）取得価額	539,501,826円
		（２）減価償却累計額及び減損損失累計額	539,501,569円
		（３）帳簿価額	257円
④	不要財産となった理由		「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」（平成22年12月７日閣議決定）において国庫納付することとされたため
⑤	国庫納付等の方法		現物納付
⑥	譲渡収入の額		－
⑦	控除費用		－
⑧	国庫納付等の額	(1)国庫納付額	－
	納付等年月日	(2)納付年月日	平成30年２月23日
⑨	減資額		539,501,826円
⑩	備考		

Ⅷ．オペレーティング・リース取引

１．貸借対照表日後一年以内のリース期間に係る未経過リース料　21,003,189円

２．貸借対照表日後一年を超えるリース期間に係る未経過リース料　6,048,648円

Ⅸ．重要な債務負担行為

該当事項はありません。

Ⅹ．重要な後発事象

該当事項はありません。

Ⅺ．その他独立行政法人の状況を適切に開示するために必要な会計情報

該当事項はありません。

財　務　諸　表
（附属明細書）

1．固定資産の取得、処分、減価償却費（「第87　特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第91　資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）
及び減損損失累計額の明細

（単位：円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額	当期償却額	減損損失累計額	当期減損額	差引当期末残高	摘要
有形固定資産（償却費損益内）	建物	759,050,967,972	39,802,344,745	2,739,215,106	796,114,097,611	341,507,203,065	29,040,504,591	10,373,211,784	166,278,434	444,233,682,762	
	構築物	33,413,087,133	3,007,515,567	92,975,315	36,327,627,385	18,557,943,783	1,511,491,850	554,861,221	649,635	17,214,822,381	
	医療用器械備品	254,383,452,531	9,997,269,285	6,059,325,214	258,321,396,602	204,887,204,214	22,139,720,114	70,962,444	4,926,161	53,363,229,944	
	その他器械備品	53,500,389,260	6,561,593,499	3,517,359,317	56,544,623,442	37,324,456,619	6,628,426,682	18,739,079	260,349	19,201,427,744	
	車両	1,319,504,193	50,291,405	22,246,346	1,347,549,252	1,124,971,091	129,784,131	207,828	0	222,370,333	
	放射性同位元素	52,095,452	0	0	52,095,452	30,541,692	3,173,614	0	0	21,553,760	
	計	1,101,719,496,541	59,419,014,501	12,431,121,298	1,148,707,389,744	603,432,320,464	59,453,100,982	11,017,982,356	172,114,579	534,257,086,924	
有形固定資産（償却費損益外）	建物	9,997,513,656	16,575,338	0	10,014,088,994	4,239,906,285	390,250,696	6,451,590	0	5,767,731,119	
	構築物	979,711,764	613,153	0	980,324,917	713,198,368	50,917,649	1,110,777	0	266,015,772	
	計	10,977,225,420	17,188,491	0	10,994,413,911	4,953,104,653	441,168,345	7,562,367	0	6,033,746,891	
非償却資産	土地	469,936,354,756	1,122,295,622	1,715,675,005	469,342,975,373	－	－	117,492,487	0	469,225,482,886	
	建設仮勘定	6,696,509,605	19,195,804,654	13,327,677,277	12,564,636,982	－	－	－	156,740,400	12,564,636,982	
	その他有形固定資産	76,439,400	0	0	76,439,400	－	－	0	0	76,439,400	
	計	476,709,303,761	20,318,100,276	15,043,352,282	481,984,051,755	－	－	117,492,487	156,740,400	481,866,559,268	
有形固定資産合計	建物	769,048,481,628	39,818,920,083	2,739,215,106	806,128,186,605	345,747,109,350	29,430,755,287	10,379,663,374	166,278,434	450,001,413,881	
	構築物	34,392,798,897	3,008,128,720	92,975,315	37,307,952,302	19,271,142,151	1,562,409,499	555,971,998	649,635	17,480,838,153	
	医療用器械備品	254,383,452,531	9,997,269,285	6,059,325,214	258,321,396,602	204,887,204,214	22,139,720,114	70,962,444	4,926,161	53,363,229,944	
	その他器械備品	53,500,389,260	6,561,593,499	3,517,359,317	56,544,623,442	37,324,456,619	6,628,426,682	18,739,079	260,349	19,201,427,744	
	車両	1,319,504,193	50,291,405	22,246,346	1,347,549,252	1,124,971,091	129,784,131	207,828	0	222,370,333	
	放射性同位元素	52,095,452	0	0	52,095,452	30,541,692	3,173,614	0	0	21,553,760	
	土地	469,936,354,756	1,122,295,622	1,715,675,005	469,342,975,373	－	－	117,492,487	0	469,225,482,886	
	建設仮勘定	6,696,509,605	19,195,804,654	13,327,677,277	12,564,636,982	－	－	－	156,740,400	12,564,636,982	
	その他有形固定資産	76,439,400	0	0	76,439,400	－	－	0	0	76,439,400	
	計	1,589,406,025,722	79,754,303,268	27,474,473,580	1,641,685,855,410	608,385,425,117	59,894,269,327	11,143,037,210	328,854,979	1,022,157,393,083	
無形固定資産	特許権	40	15	0	55	－	－	0	0	55	
	ソフトウェア	38,217,022,542	7,588,210,143	745,657,362	45,059,575,323	26,808,812,071	6,834,678,345	0	0	18,250,763,252	
	電話加入権	201,988,120	0	584,000	201,404,120	－	－	4,319,940	0	197,084,180	
	その他無形固定資産	8,733,443	18,049,348	0	26,782,791	2,530,112	869,516	0	0	24,252,679	
	計	38,427,744,145	7,606,259,506	746,241,362	45,287,762,289	26,811,342,183	6,835,547,861	4,319,940	0	18,472,100,166	
投資その他の資産	長期貸付金	2,509,607,758	954,245,879	1,092,464,874	2,371,388,763	－	－	－	－	2,371,388,763	
	破産更生債権等	1,874,629,429	438,790,863	479,683,267	1,833,737,025	－	－	－	－	1,833,737,025	
	貸倒引当金	△ 1,874,629,429	△ 198,359,069	△ 239,251,473	△ 1,833,737,025	－	－	－	－	△ 1,833,737,025	
	長期前払費用	89,566,632	18,427,403	43,044,267	64,949,768	－	－	－	－	64,949,768	
	災害備蓄在庫	204,740,877	91,740,611	75,300,537	221,180,951	－	－	－	－	221,180,951	
	その他投資資産	20,183,500	342,000	1,143,000	19,382,500	－	－	－	－	19,382,500	
	計	2,824,098,767	1,305,187,687	1,452,384,472	2,676,901,982	－	－	－	－	2,676,901,982	

2. たな卸資産の明細

（単位：円）

種　類	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘　要
		当期購入・製造・振替	払出・振替	その他		
医薬品	4,020,791,221	149,583,167,662	149,732,128,379	1,881,013	3,869,949,491	注
診療材料	1,844,395,866	81,184,894,492	81,171,832,784	9,630,152	1,847,827,422	注
給食用材料	169,303,509	11,236,909,216	11,220,568,358	0	185,644,367	
貯蔵品	562,764,867	16,223,774,559	16,170,471,986	0	616,067,440	
計	6,597,255,463	258,228,745,929	258,295,001,507	11,511,165	6,519,488,720	

（注）当期減少額のその他は、低価法による評価損によるものです。

3. 長期貸付金の明細

（単位：円）

区　分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘　要
			回収額	償却額		
奨学金貸与	2,576,445,192	904,965,879	219,194,612	786,379,874	2,475,836,585	注
計	2,576,445,192	904,965,879	219,194,612	786,379,874	2,475,836,585	

（注）1．当期減少額のうち「償却額」は独立行政法人国立病院機構奨学金貸与規程第11条による返還免除額及び回収不能による償却額です。
　　2．一年以内回収長期貸付金（期末残高104,447,822円）を含めております。

4. 長期借入金の明細

（単位：円）

区　分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	平均利率（%）	返済期限	摘　要
財政融資資金	454,959,179,794	55,800,000,000	48,576,906,546	462,182,273,248	0.72%	平成30年5月25日 ～平成55年3月20日	
計	454,959,179,794	55,800,000,000	48,576,906,546	462,182,273,248			

5. 引当金の明細

（単位：円）

区　分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘　要
			目的使用	その他		
賞与引当金	29,002,335,702	29,551,232,698	29,002,335,702	0	29,551,232,698	
損害補償損失引当金	1,042,736,046	222,036,891	129,046,574	0	1,135,726,363	
計	30,045,071,748	29,773,269,589	29,131,382,276	0	30,686,959,061	

6. 貸付金等に対する貸倒引当金の明細

（単位：円）

区　分	貸付金等の残高			貸倒引当金の残高			摘　要
	期首残高	当期増減額	期末残高	期首残高	当期増減額	期末残高	
医業未収金	156,902,074,002	3,086,505,399	159,988,579,401	477,249,287	7,925,936	485,175,223	
一般債権	156,902,074,002	3,086,505,399	159,988,579,401	477,249,287	7,925,936	485,175,223	注1
未収金	4,799,844,891	134,206,751	4,934,051,642	0	0	0	
一般債権	4,799,844,891	134,206,751	4,934,051,642	0	0	0	
破産更生債権等	1,874,629,429	△ 40,892,404	1,833,737,025	1,874,629,429	△ 40,892,404	1,833,737,025	
破産更生債権等	1,874,629,429	△ 40,892,404	1,833,737,025	1,874,629,429	△ 40,892,404	1,833,737,025	注2
計	163,576,548,322	3,179,819,746	166,756,368,068	2,351,878,716	△ 32,966,468	2,318,912,248	

（注）1．一般債権については、貸倒実績率により、回収不能見込額を計上しております。
　　2．破産更生債権等（発生から1年以上経過した医業未収金及び未収金）については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

7. 退職給付引当金の明細

（単位：円）

区　分		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘　要
退職給付債務合計額		261,854,647,645	8,233,229,963	20,216,462,327	249,871,415,281	
	退職一時金に係る債務	181,836,279,293	8,233,229,963	10,928,280,327	179,141,228,929	
	整理資源負担金に係る債務	80,018,368,352	0	9,288,182,000	70,730,186,352	
未認識過去勤務費用及び未認識数理計算上の差異		2,372,727,877	12,596,440,872	1,160,555,984	13,808,612,765	
年金資産		－	－	－	－	
退職給付引当金		264,227,375,522	20,829,670,835	21,377,018,311	263,680,028,046	

8. 資産除去債務の明細

（単位：円）

区　分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘　要
労働安全衛生法等に基づく債務	1,573,199,557	907,738,217	69,962,344	2,410,975,430	注
特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律等に基づく債務	248,677,418	2,728,500	105,729	251,300,189	注
PCB特別措置法等に基づく債務	14,346,885	0	0	14,346,885	注
計	1,836,223,860	910,466,717	70,068,073	2,676,622,504	

（注）資産除去債務に対応する除去費用等については、独立行政法人会計基準第91の特定はされておりません。

9. 資本金及び資本剰余金の明細

（単位：円）

区　分		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘　要
資本金	政府出資金	203,445,413,115	0	539,501,826	202,905,911,289	注1
	計	203,445,413,115	0	539,501,826	202,905,911,289	
資本剰余金	資本剰余金					
	施設費	36,179,173,837	17,188,491	0	36,196,362,328	注2
	補助金等	13,313,455,914	0	0	13,313,455,914	
	目的積立金	84,319,126,612	0	0	84,319,126,612	
	減資差益	4,842,761,422	539,501,569	0	5,382,262,991	注3
	損益外除売却差額相当額	△ 2,921,604,853	39,292,862	140,228,238	△ 3,022,540,229	注4
	その他	94,753,855,882	0	0	94,753,855,882	
	計	230,486,768,814	595,982,922	140,228,238	230,942,523,498	
	損益外減価償却累計額	4,511,936,308	441,168,345	0	4,953,104,653	
	損益外減損損失累計額	7,562,367	0	0	7,562,367	
	差引計	225,967,270,139	154,814,577	140,228,238	225,981,856,478	

（注）1. 当期減少額は、独立行政法人通則法第46条の2第4項の規定に従い国庫納付したことによるものです。
2. 当期増加額は、心神喪失者等医療観察法指定入院医療機関施設整備費負担金を財源とした資産の増加によるものです。
3. 当期増加額は、独立行政法人通則法第46条の2第4項の規定に従い国庫納付したことによるものです。
4. 当期増加額及び当期減少額の主なものは、国から承継した資産(土地)の売却によるものです。

10. 積立金の明細

（単位：円）

区　分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘　要
通則法第44条第1項の積立金	13,007,929,807	0	13,007,929,807	0	注
計	13,007,929,807	0	13,007,929,807	0	

（注）当期減少額は、前期の損失処理によるものです。

11. 運営費交付金債務及び当期振替額等の明細

(1)運営費交付金債務の増減の明細

(単位:円)

期首残高	交付金 当期交付額	当期振替額				期末残高
		運営費交付金収益	資産見返 運営費交付金	資本剰余金	小計	
5,885,636,139	14,450,916,000	13,070,088,628	237,866,675	0	13,307,955,303	7,028,596,836

(2)運営費交付金債務の当期振替額及び主な使途の明細

①運営費交付金収益への振替額及び主な使途の明細

(単位:円)

区　　分		運営費交付金収益	運営費交付金の主な使途	
			費用	主な使途
業務達成基準による振替額				
	教育研修事業	172,840,777	172,840,777	人件費:154,682,882円、消耗品費:3,952,100円、その他:14,205,795円
	臨床研究事業	2,320,557,902	2,320,557,902	人件費:520,326,808円、消耗品費:269,579,358円、その他:1,530,651,736円
	その他事業	10,576,689,949	10,576,689,949	退職給付費用:9,634,485,571円、その他:942,204,378円
期間進行基準による振替額		0	0	(期間進行基準を採用した業務は無い)
費用進行基準による振替額		0	0	(費用進行基準を採用した業務は無い)
合計		13,070,088,628	13,070,088,628	

②資産見返運営費交付金及び資本剰余金への振替額並びに主な使途の明細

(単位:円)

セグメント	資産見返運営費交付金への振替		資本剰余金への振替	
	振替額	主な使途	振替額	主な使途
教育研修事業	0		0	
臨床研究事業	40,971,960	その他器械備品:40,971,960円	0	
その他事業	196,894,715	その他器械備品:190,044,092円、車両:6,850,623円	0	
合計	237,866,675		0	

(3)運営費交付金債務残高の明細

(単位:円)

運営費交付金債務残高		使用見込み
業務達成基準を採用した業務に係る分	1,847,734,279	翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高と使用見込みは以下のとおりです。 臨床研究事業のIT基盤構築事業については、サーバールームセキュリティ強化改修工事の設計に時間を要したことにより、翌事業年度に9,584,138円収益化予定。 その他事業の国期間に係る退職手当については、計画に対し退職者が少なかったため、翌事業年度に1,468,277,903円収益化予定。 その他事業の医療廃棄物等処理については、事前調査に時間を要したため、翌事業年度に369,872,238円収益化予定。
期間進行基準を採用した業務に係る分	―	(期間進行基準を採用した業務は無い)
費用進行基準を採用した業務に係る分	―	(費用進行基準を採用した業務は無い)
その他	5,180,862,557	収益化単位の業務に配分を行わなかった運営費交付金については、翌事業年度の医療廃棄物等処理及び臨床研究事業等に収益化予定。
計	7,028,596,836	

12. 運営費交付金以外の国等からの財源措置の明細

(1)施設費の明細

(単位:円)

区　分	当期交付額	左の会計処理内訳			摘 要
		建設仮勘定見返施設費	資本剰余金	その他	
心神喪失者等医療観察法指定入院医療機関施設整備費負担金	17,501,000	0	15,996,707	1,504,293	
計	17,501,000	0	15,996,707	1,504,293	

(2)補助金等の明細

(単位:円)

区　分	当期交付額	左の会計処理内訳				摘 要
		建設仮勘定見返補助金等	資産見返補助金等	資本剰余金	収益計上	
心神喪失者等医療観察法指定入院医療機関運営費負担金	90,044,381	0	1,688,688	0	88,355,693	
心神喪失者等医療観察法指定入院医療機関医療評価・向上事業費補助金	969,000	0	0	0	969,000	
感染症予防事業費等補助金(がん診療連携拠点病院機能強化事業費)	566,545,000	0	0	0	566,545,000	
感染症予防事業費等補助金(がんのゲノム医療・集学的治療推進事業)	20,278,000	0	0	0	20,278,000	
保健衛生施設等施設設備整備費補助金	5,994,000	0	3,807,810	0	2,186,190	
精神保健費等補助金	350,892	0	0	0	350,892	
医療関係者研修費等補助金	18,307,000	0	0	0	18,307,000	
自動車事故医療体制整備事業補助金	3,223,800	0	3,223,800	0	0	
臨床研究品質確保体制整備事業補助金	100,895,635	0	8,450,730	0	92,444,905	
地域診療情報連携推進費補助金	254,505,000	0	246,131,146	0	8,373,854	
特定求職者雇用開発助成金	910,000	0	0	0	910,000	
依存症対策全国拠点機関設置運営事業費補助金	56,435,000	0	0	0	56,435,000	
精神科医療体制確保研修事業費補助金	3,841,000	0	0	0	3,841,000	
企業主導型保育事業助成金	28,343,200	0	6,456,208	0	21,886,992	
[北海道外45都府県]新人看護職員研修事業補助金	90,684,000	0	0	0	90,684,000	
[北海道外27府県]看護師等養成所運営費補助金	518,657,898	0	0	0	518,657,898	
[北海道外17府県]防災訓練等参加事業費補助金	1,948,000	0	0	0	1,948,000	
[北海道外4都県]救急勤務医等支援対策事業補助金	14,074,000	0	0	0	14,074,000	
[青森県外23府県]産科医等確保支援事業費補助金	45,378,000	0	0	0	45,378,000	
[岩手県外1県]感染症外来協力医療機関整備補助金	1,145,000	0	883,000	0	262,000	
[宮城県外16府県]地域医療介護総合確保事業補助金	138,294,770	0	73,634,492	0	64,660,278	
[宮城県外12都県]医療施設等施設・設備整備費補助金	124,613,000	0	123,177,599	0	1,435,401	
[宮城県外10府県]がん診療施設設備整備事業補助金	71,558,400	0	39,948,200	0	31,610,200	
[宮城県外5府県]女性医師等就労支援事業補助金	18,842,000	0	0	0	18,842,000	
[宮城県外3県]診療連携コーディネーター事業費補助金	12,638,000	0	0	0	12,638,000	
[宮城県外2県]受入困難事案患者受入医療機関支援事業補助金	11,504,000	0	0	0	11,504,000	
[宮城県外1県]地域医療復興事業補助金	1,216,000	0	0	0	1,216,000	
[宮城県外1県]医師養成支援事業補助金	570,100	0	0	0	570,100	
[宮城県外1県]耐震対策緊急促進事業費補助金	17,078,000	0	17,078,000	0	0	
[宮城県]ドクターヘリ導入促進事業補助金	208,835,000	0	0	0	208,835,000	
[宮城県]第二期地域医療復興補助金	927,000	0	0	0	927,000	
[山形県外20府県]保育所運営費補助金	169,847,300	0	0	0	169,847,300	
[山形県]結核予防費補助金	13,413	0	0	0	13,413	
[福島県外1県]地域医療再生基金事業費補助金	57,583,000	0	37,514,000	0	20,069,000	
[茨城県外5県]新型インフルエンザ対策事業費補助金	5,716,656	0	2,221,000	0	3,495,656	
[茨城県]病院等放射線防汚対策維持管理補助金	800,345	0	0	0	800,345	
[栃木県外5県]感染症指定医療機関運営費等補助金	65,328,000	0	0	0	65,328,000	
[栃木県外5県]認定看護師研修支援事業費補助金	18,109,000	0	0	0	18,109,000	
[栃木県外5県]障害福祉施設等整備費補助金	15,711,000	0	13,723,969	0	1,987,031	
[群馬県外4都県]災害医療対策事業費補助金	3,346,356	0	2,885,356	0	461,000	
[群馬県外3県]医療施設運営費等補助金	2,701,000	0	0	0	2,701,000	
[群馬県外2県]感染症指定医療機関施設・設備整備事業補助金	14,792,000	0	9,014,548	0	5,777,452	
[群馬県]へき地医療拠点病院運営費補助金	5,021,000	0	0	0	5,021,000	
[千葉県外3県]在宅移行児童一時支援事業補助金	5,366,000	0	0	0	5,366,000	
[埼玉県外4県]病院群輪番制病院支援事業補助金	8,835,000	0	2,902,000	0	5,933,000	
[埼玉県外4県]小児救急医療支援事業補助金	115,021,000	0	11,708,000	0	103,313,000	

区　分	当期交付額	左の会計処理内訳				摘 要
		建設仮勘定見返補助金等	資産見返補助金等	資本剰余金	収益計上	
[埼玉県]総合医局機構指導医等確保事業補助金	2,368,000	0	0	0	2,368,000	
[神奈川県]熊本地震被災私立学校生徒学費軽減事業補助金	266,660	0	0	0	266,660	
[神奈川県]東日本大震災被災私立学校生徒学費軽減事業補助金	994,390	0	0	0	994,390	
[長野県]看護職員確保対策事業等補助金	2,406,000	0	0	0	2,406,000	
[長野県]自殺対策緊急強化事業補助金	81,000	0	0	0	81,000	
[新潟県外8県]勤務環境改善支援事業補助金	16,197,720	0	0	0	16,197,720	
[富山県外4府県]認知症疾患医療センター運営事業費補助金	19,041,000	0	2,109,240	0	16,931,760	
[石川県外10府県]医療人材養成支援事業費補助金	8,994,539	0	0	0	8,994,539	
[岐阜県外1県]障害児者施設等入所者支援事業費補助金	2,185,600	0	0	0	2,185,600	
[静岡県外3県]救急救命士病院実習受入促進事業補助金	2,335,000	0	0	0	2,335,000	
[愛知県外2県]保健衛生施設等施設設備整備費補助金	23,094,000	0	16,742,100	0	6,351,900	
[愛知県]回復期病床整備事業費補助金	7,196,000	0	1,817,622	0	5,378,378	
[三重県]小児・周産期医療施設運営費補助金	24,602,000	0	20,411,996	0	4,190,004	
[三重県]救急患者搬送情報共有システム運営補助金	258,800	0	0	0	258,800	
[三重県]コミュニケーション支援事業補助金	275,000	0	0	0	275,000	
[三重県]地域療育支援施設運営事業	11,804,000	0	0	0	11,804,000	
[福井県]医師派遣支援事業補助金	1,080,000	0	0	0	1,080,000	
[福井県]重症心身障害児者と家族のための在宅生活サポート事業補助金	1,548,100	0	0	0	1,548,100	
[福井県]原子力災害対策施設整備費補助金	1,617,840	0	0	0	1,617,840	
[京都府]原子力災害対策施設等緊急整備事業費補助金	232,072,935	0	217,973,928	0	14,099,007	
[京都府]在宅療養あんしん病院支援事業補助金	560,500	0	0	0	560,500	
[奈良県]外国人看護師候補者就労支援事業	387,000	0	0	0	387,000	
[大阪府外1県]医療型短期入所受入体制整備事業	6,824,200	0	0	0	6,824,200	
[大阪府]救急搬送患者受入促進事業費補助金	7,424,000	0	0	0	7,424,000	
[大阪府]緩和ケア人材養成事業補助金	1,177,000	0	0	0	1,177,000	
[和歌山県外2県]救命救急センター運営事業補助金	149,051,000	0	0	0	149,051,000	
[島根県外2県]救急医療支援事業費補助金	3,392,000	0	0	0	3,392,000	
[香川県]小児慢性特定疾病重症患児等療養生活支援事業	4,376,000	0	0	0	4,376,000	
[佐賀県外1県]災害拠点病院施設整備費補助金	2,018,000	0	2,018,000	0	0	
[宮崎県]児童精神科医療体制拠点整備促進事業費補助金	14,620,628	0	2,511,000	0	12,109,628	
[鹿児島県]指定文化財保護事業費補助金	666,000	0	0	0	666,000	
[沖縄県]沖縄振興公共投資交付金補助金	257,580,000	0	256,889,927	0	690,073	
[旭川市外24市町]保育所運営費補助金	123,697,558	0	20,093,222	0	103,604,336	
[札幌市外2市]結核健康診断費補助金	136,916	0	0	0	136,916	
[札幌市]がん患者等相談支援体制整備促進事業	1,000,000	0	0	0	1,000,000	
[函館市外20市]病院群輪番制病院運営事業補助金	170,118,570	0	1,404,000	0	168,714,570	
[仙台市]認知症疾患医療センター運営事業費補助金	6,594,000	0	0	0	6,594,000	
[亘理郡山元町]耐震対策緊急促進事業補助金	1,157,000	0	687,590	0	469,410	
[宇都宮市外12市町]救急医療体制運営費補助金	82,253,788	0	4,519,000	0	77,734,788	
[宇都宮市外9市町]小児救急医療支援事業補助金	92,747,868	0	0	0	92,747,868	
[千葉市外4市]産科医等確保支援事業費補助金	12,212,000	0	0	0	12,212,000	
[千葉市]看護師等養成所運営費補助金	16,821,000	0	0	0	16,821,000	
[横浜市外2市]二次救急拠点病院体制確保に係る補助金	29,507,879	0	0	0	29,507,879	
[横浜市外1市]専門看護師等資格取得助成事業補助金	1,742,000	0	0	0	1,742,000	
[横浜市]周産期救急連携病院補助金	2,000,000	0	0	0	2,000,000	
[坂城町外1町]医師確保補助金	31,750,000	0	0	0	31,750,000	
[静岡市]住宅・建築物等耐震化促進事業費補助金	16,101,000	0	16,101,000	0	0	
[城陽市外8市町]心身障害者サービス利用支援事業費補助金	1,290,750	0	0	0	1,290,750	
[鳥取市外1町]重度障がい児者支援事業補助金	6,736,700	0	0	0	6,736,700	
[鳥取市]看護職員実習指導者養成支援事業補助金	250,000	0	0	0	250,000	
[浜田市]医師初期臨床研修費補助事業補助金	2,601,000	0	0	0	2,601,000	
[倉敷市外2市]重症心身障害児者レスパイトサービス拡大促進事業補助金	10,524,000	0	0	0	10,524,000	
[東広島市]災害派遣医療チーム設備整備事業補助金	3,113,000	0	3,113,000	0	0	
[福岡市]ベンチ購入費補助事業補助金	97,200	0	0	0	97,200	
[鹿児島市]指定文化財保護事業補助金	666,000	0	0	0	666,000	
計	4,336,409,287	0	1,170,840,171	0	3,165,569,116	

13. 役員及び職員の給与の明細

（単位：円、人）

区　分	報酬又は給与		退職手当	
	支給額	支給人員	支給額	支給人員
役　員	(5,760,000) 85,222,498	(3) 5	(0) 0	(0) 0
職　員	(36,060,614,768) 383,726,063,304	(13,814) 60,504	(0) 20,367,381,207	(0) 5,537
合　計	(36,066,374,768) 383,811,285,802	(13,817) 60,509	(0) 20,367,381,207	(0) 5,537

（注）1.　役員に対する報酬等の支給基準は、独立行政法人国立病院機構役員報酬規程及び独立行政法人国立病院機構役員退職手当規程によっております。

2.　職員に対する給与等の支給基準は、独立行政法人国立病院機構職員給与規程、独立行政法人国立病院機構院長給与規程、独立行政法人国立病院機構非常勤職員給与規程、独立行政法人国立病院機構非常勤医師及び歯科医師給与規程、独立行政法人国立病院機構期間医師の給与等に関する規程、独立行政法人国立病院機構治験コーディネーターの給与等に関する規程、独立行政法人国立病院機構休業等代替職員の給与等に関する規程、独立行政法人国立病院機構本部職員給与規程、独立行政法人国立病院機構本部非常勤特定専門職員給与規程及び独立行政法人国立病院機構職員退職手当規程によっております。

3.　支給人員数は、年間平均支給人員数を記載しております。

4.　非常勤の役員及び職員並びに期間職員は、外数として（　）で記載しております。

5.　中期計画においては、法定福利費等を含めて予算上の人件費としておりますが、上記明細には法定福利費等は含まれておりません。

14. 科学研究費補助金の明細

（単位：円、件）

種　目	当期受入	件　数	摘　要
文部科学省科学研究費補助金	17,151,300 (57,071,003)	48	
日本学術振興会学術研究助成基金助成金	61,373,411 (208,381,873)	223	
科学技術振興機構科学研究費	10,346,000 (46,180,000)	9	
厚生労働科学研究費補助金	90,017,000 (293,626,800)	143	
合　計	178,887,711 (605,259,676)	423	

（注）直接経費相当額については、外数として（ ）で記載しております。

15. 開示すべきセグメント情報

（単位：円）

		診療事業	教育研修事業	臨床研究事業	計	法人共通	合計
Ⅰ事業収益、事業費用及び事業損益							
事業収益							
	医業収益	945,417,728,984	－	－	945,417,728,984	－	945,417,728,984
	看護師等養成所収益	－	4,225,623,887	－	4,225,623,887	－	4,225,623,887
	研修収益	－	321,501,471	－	321,501,471	－	321,501,471
	研究収益	－	－	7,634,700,880	7,634,700,880	－	7,634,700,880
	運営費交付金収益	21,347,595	172,840,777	2,443,054,514	2,637,242,886	10,199,873,085	12,837,115,971
	補助金等収益	4,211,983,945	580,420,522	229,192,920	5,021,597,387	277,208,966	5,298,806,353
	寄附金収益	178,166,805	851,526	409,751,560	588,769,891	1,740,000	590,509,891
	資産見返物品受贈額戻入	806,871	0	0	806,871	0	806,871
	施設費収益	1,622,509	0	0	1,622,509	0	1,622,509
	財務収益	0	0	0	0	1,878,058	1,878,058
	その他	5,399,497,799	49,620,952	94,766,004	5,543,884,755	3,406,163,692	8,950,048,447
	事業収益計	955,231,154,508	5,350,859,135	10,811,465,878	971,393,479,521	13,886,863,801	985,280,343,322
事業費用							
	業務費	944,552,080,720	8,012,426,946	13,989,482,499	966,553,990,165	－	966,553,990,165
	一般管理費	－	－	－	－	13,105,454,548	13,105,454,548
	財務費用	0	0	0	0	4,056,719,644	4,056,719,644
	その他	－	－	－	－	3,726,027,237	3,726,027,237
	事業費用計	944,552,080,720	8,012,426,946	13,989,482,499	966,553,990,165	20,888,201,429	987,442,191,594
事業損益（△損失）		10,679,073,788	△ 2,661,567,811	△ 3,178,016,621	4,839,489,356	△ 7,001,337,628	△ 2,161,848,272

（単位：円）

	診療事業	教育研修事業	臨床研究事業	計	法人共通	合計
Ⅱ臨時損益等						
臨時利益	58,832,157	0	0	58,832,157	422,952,350	481,784,507
臨時損失	5,704,759,755	86,834,985	8,709,295	5,800,304,035	506,242,258	6,306,546,293
臨時損益（△損失）	△ 5,645,927,598	△ 86,834,985	△ 8,709,295	△ 5,741,471,878	△ 83,289,908	△ 5,824,761,786
当期純損益（△損失）	5,033,146,190	△ 2,748,402,796	△ 3,186,725,916	△ 901,982,522	△ 7,084,627,536	△ 7,986,610,058
当期総損益（△損失）	5,033,146,190	△ 2,748,402,796	△ 3,186,725,916	△ 901,982,522	△ 7,084,627,536	△ 7,986,610,058
Ⅲ行政サービス実施コスト						
業務費用						
損益計算書上の費用	950,256,840,475	8,099,261,931	13,998,191,794	972,354,294,200	21,394,443,687	993,748,737,887
（控除）自己収入	△ 951,054,225,745	△ 4,597,597,836	△ 7,960,330,733	△ 963,612,154,314	△ 3,409,781,750	△ 967,021,936,064
業務費用の合計	△ 797,385,270	3,501,664,095	6,037,861,061	8,742,139,886	17,984,661,937	26,726,801,823
損益外減価償却相当額	441,168,345	0	0	441,168,345	0	441,168,345
損益外除売却差額相当額	100,935,376	0	0	100,935,376	0	100,935,376
機会費用						
国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	6,052,328	0	0	6,052,328	0	6,052,328
政府出資又は地方公共団体出資等の機会費用	0	0	0	0	193,117,896	193,117,896
行政サービス実施コスト	△ 249,229,221	3,501,664,095	6,037,861,061	9,290,295,935	18,177,779,833	27,468,075,768
Ⅳ総資産						
流動資産						
現金及び預金	0	0	0	0	110,176,220,968	110,176,220,968
医業未収金	159,503,404,178	0	0	159,503,404,178	0	159,503,404,178
その他	9,373,755,467	314,834,525	606,204,457	10,294,794,449	2,087,276,682	12,382,071,131
流動資産計	168,877,159,645	314,834,525	606,204,457	169,798,198,627	112,263,497,650	282,061,696,277
固定資産						
建物	426,551,446,311	20,206,718,061	2,371,299,558	449,129,463,930	871,949,951	450,001,413,881
構築物	17,147,695,534	305,951,086	18,055,574	17,471,702,194	9,135,959	17,480,838,153
医療器械備品	53,363,229,944	0	0	53,363,229,944	0	53,363,229,944
その他器械備品	16,729,720,182	156,378,986	1,452,086,111	18,338,185,279	863,242,465	19,201,427,744
土地	457,931,162,998	5,430,543,150	55,870,933	463,417,577,081	5,807,905,805	469,225,482,886
建設仮勘定	12,527,075,552	478,200	2,297,756	12,529,851,508	34,785,474	12,564,636,982
ソフトウェア	16,947,530,004	12,696,986	424,927,642	17,385,154,632	865,608,620	18,250,763,252
その他	3,078,103,770	6,465,429	2,263,255	3,086,832,454	131,769,935	3,218,602,389
固定資産計	1,004,275,964,295	26,119,231,898	4,326,800,829	1,034,721,997,022	8,584,398,209	1,043,306,395,231
総資産	1,173,153,123,940	26,434,066,423	4,933,005,286	1,204,520,195,649	120,847,895,859	1,325,368,091,508

（注）1．セグメントの区分については、中長期目標等における一定の事業等のまとまりごとの区分に基づくセグメント情報を開示しております。

2．事業の内容

「診療事業」　：安心で安全な質の高い医療や政策医療を提供するための事業

「教育研修事業」：質の高い医療従事者（医師、看護師等）を養成・育成するための事業

「臨床研究事業」：医療の質の向上に貢献するための研究、治験等の事業

3．事業収益のうち法人共通は、各セグメントに配賦不能な収益であり、その主なものは、国勤務期間分の退職給付債務等に係る運営費交付金収益（10,199,873,085円）です。

4．事業費用のうち法人共通は、各セグメントに配賦不能な費用であり、その主なものは、管理部門に係る費用（13,105,454,548円）です。

5．総資産のうち法人共通は、各セグメントに配賦しなかった資産であり、その主なものは、現金及び預金（110,176,220,968円）、管理部門が管理する土地(5,807,905,805円)、管理部門に係る建物（871,949,951円）です。

16. 関連公益法人の状況

関連公益法人の概要

名称	業務の概要	役員の氏名(平成30年3月31日現在)
一般社団法人　国立医療学会	・学会、研究会、講習会等の開催 ・機関誌等の発行 ・国民医療の発展向上に関する調査、研究及びその褒賞 ・関係諸団体との連携及び交流事業 ・その他当法人の目的を達成するために必要な事業	理事長　楠岡　英雄　国立病院機構理事長 理事　桑島　昭文　国立病院機構医務担当理事 理事　久部　洋子　国立病院機構看護担当理事 理事　橋本　省　国立病院機構仙台医療センター院長 理事　平原　史樹　国立病院機構横浜医療センター院長 理事　直江　知樹　国立病院機構名古屋医療センター院長 理事　中井　國雄　国立病院機構南和歌山医療センター院長 理事　中川　義信　国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター院長 理事　村中　光　国立病院機構九州医療センター院長 理事　小森　哲夫　国立病院機構箱根病院院長 理事　杠　岳史　国立病院機構肥前精神医療センター院長 理事　上之原　広司　国立病院機構仙台医療センター副院長 理事　中釜　斉　国立がん研究センター理事長 理事　國土　典宏　国立国際医療研究センター理事長 監事　大田　健　国立病院機構東京病院院長 監事　古川　康之　国立病院機構東京医療センター事務部長

関連公益法人との取引の関連図

独立行政法人 国立病院機構 → 一般社団法人 国立医療学会

当法人は、会費及び書籍代を支払っている。

関連公益法人の財務状況　（単位:円）

法人名	資産	負債	正味財産	当期収入合計額	当期支出合計額	当期収支差額	摘　要
一般社団法人 国立医療学会	5,363,551	1,740,852	3,622,699	－	－	－	注

(注)関連公益法人において収支計算書を作成していないため、当期収入合計額、当期支出合計額及び当期収支差額は記載しておりません。

関連公益法人の正味財産について　（単位:円）

一般正味財産増減の部										指定正味財産増減の部							正味財産期末残高
収益	収益の内訳		費用	費用の内訳			当期増減額	一般正味財産期首残高	一般正味財産期末残高	収益	収益の内訳		費用	当期増減額	指定正味財産期首残高	指定正味財産期末残高	
	受取補助金等	その他の収益		事業費	管理費	その他の費用					受取補助金等	その他の収益					
A			B				C＝A-B	D	E=C+D	F			G	H=F-G	I	J=H＋I	K=E+J
13,632,400	0	13,632,400	13,613,990	13,326,773	82,710	204,507	18,410	△ 1,936,614	△ 1,918,204	0	0	0	0	0	0	0	△ 1,918,204

関連公益法人との取引の状況　（単位:円）

法人名	基本財産に対する出えん	拠出、寄附金	当事業年度において当法人が負担した会費、負担金等	関連公益法人に対する債権債務の明細		関連公益法人の事業収入	うち当法人からの収入（うち、上段:競争契約等 下段:随意契約）	割合
				科目	金額			
一般社団法人 国立医療学会	0	0	1,425,600	未払金	727,884	13,632,400	5,759,726 (0) (5,759,726)	42.3% (0.0%) (42.3%)

(注)1. 上記法人に対する債務保証はありません。

2. 上記「競争契約等」とは、競争契約及び企画競争・公募のことであり、「随意契約」とは競争性のない随意契約のことを示しています。

17. 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細

該当事項はありません。

決 算 報 告 書

決　算　報　告　書

（平成２９年４月１日～平成３０年３月３１日）

【独立行政法人　国立病院機構】　　（単位：円）

区　　分	診療事業			
	予 算 額	決 算 額	差　　額	備　　考
収入				
運営費交付金	0	0	0	
長期借入金等	－	－	－	
業務収入	947,697,711,000	951,780,950,682	4,083,239,682	
その他収入	0	391,925,735	391,925,735	計画時では法人共通に計上していたことによる
計	947,697,711,000	952,172,876,417	4,475,165,417	
支出				
業務経費				
診療業務経費	857,524,682,000	856,853,079,153	△ 671,602,847	
教育研修業務経費	－	－	－	
臨床研究業務経費	－	－	－	
その他の経費	0	0	0	
施設整備費	0	73,647,113,357	73,647,113,357	計画時では法人共通に計上していたことによる
借入金償還	－	－	－	
支払利息	－	－	－	
その他支出	0	1,490,076,536	1,490,076,536	計画時では法人共通に計上していたことによる
計	857,524,682,000	931,990,269,046	74,465,587,046	

（注）損益計算書の計上額と決算額の集計区分の相違の概要は、以下のとおりであります。

（１）損益計算書の以下の科目は、決算報告書上は「業務収入」に含まれております。

①　診療業務収益のうち「医業収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他診療業務収益」

②　教育研修業務収益のうち「看護師等養成所収益」、「研修収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他教育研修業務収益」

③　臨床研究業務収益のうち「研究収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他臨床研究業務収益」

④　その他経常収益のうち「財務収益」、「土地建物等貸付料収入」、「宿舎貸付料収入」、「寄附金収益」、「その他経常収益」

（２）損益計算書の臨時利益は、決算報告書上は「その他収入」に含まれております。

（３）損益計算書の「一般管理費」、その他経常費用のうち財務費用の「支払手数料」及び「その他経常費用」は、決算報告書上は業務経費の「その他の経費」に含まれております。

決　算　報　告　書

（平成２９年４月１日～平成３０年３月３１日）

【独立行政法人　国立病院機構】　（単位：円）

区　　分	教育研修事業			
	予 算 額	決 算 額	差　　額	備　　考
収入				
運営費交付金	148,144,000	172,840,777	24,696,777	運営費交付金の配分額を見直したこと等による
長期借入金等	－	－	－	
業務収入	4,267,889,000	5,645,785,533	1,377,896,533	補助金等収益が計画より増加したこと等による
その他収入	0	982,108	982,108	計画時では法人共通に計上していたことによる
計	4,416,033,000	5,819,608,418	1,403,575,418	
支出				
業務経費				
診療業務経費	－	－	－	
教育研修業務経費	6,573,320,000	7,119,598,094	546,278,094	
臨床研究業務経費	－	－	－	
その他の経費	0	0	0	
施設整備費	0	1,226,246,274	1,226,246,274	計画時では法人共通に計上していたことによる
借入金償還	－	－	－	
支払利息	－	－	－	
その他支出	0	2,818,099	2,818,099	計画時では法人共通に計上していたことによる
計	6,573,320,000	8,348,662,467	1,775,342,467	

（注）損益計算書の計上額と決算額の集計区分の相違の概要は、以下のとおりであります。

（１）損益計算書の以下の科目は、決算報告書上は「業務収入」に含まれております。

①　診療業務収益のうち「医業収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他診療業務収益」

②　教育研修業務収益のうち「看護師等養成所収益」、「研修収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他教育研修業務収益」

③　臨床研究業務収益のうち「研究収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他臨床研究業務収益」

④　その他経常収益のうち「財務収益」、「土地建物等貸付料収入」、「宿舎貸付料収入」、「寄附金収益」、「その他経常収益」

（２）損益計算書の臨時利益は、決算報告書上は「その他収入」に含まれております。

（３）損益計算書の「一般管理費」、その他経常費用のうち財務費用の「支払手数料」及び「その他経常費用」は、決算報告書上は業務経費の「その他の経費」に含まれております。

決　算　報　告　書

（平成２９年４月１日～平成３０年３月３１日）

【独立行政法人　国立病院機構】　（単位：円）

区　　分	臨床研究事業			
	予 算 額	決 算 額	差　　額	備　　考
収入				
運営費交付金	2,778,105,000	2,361,529,862	△ 416,575,138	運営費交付金の配分額を見直したこと等による
長期借入金等	－	－	－	
業務収入	8,550,256,000	8,004,580,619	△ 545,675,381	
その他収入	0	0	0	
計	11,328,361,000	10,366,110,481	△ 962,250,519	
支出				
業務経費				
診療業務経費	－	－	－	
教育研修業務経費	－	－	－	
臨床研究業務経費	15,637,105,000	13,079,706,645	△ 2,557,398,355	経費が計画より減少したこと等による
その他の経費	0	0	0	
施設整備費	0	626,301,849	626,301,849	計画時では法人共通に計上していたことによる
借入金償還	－	－	－	
支払利息	－	－	－	
その他支出	0	4,251,240	4,251,240	計画時では法人共通に計上していたことによる
計	15,637,105,000	13,710,259,734	△ 1,926,845,266	

（注）損益計算書の計上額と決算額の集計区分の相違の概要は、以下のとおりであります。

（１）損益計算書の以下の科目は、決算報告書上は「業務収入」に含まれております。

①　診療業務収益のうち「医業収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他診療業務収益」

②　教育研修業務収益のうち「看護師等養成所収益」、「研修収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他教育研修業務収益」

③　臨床研究業務収益のうち「研究収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他臨床研究業務収益」

④　その他経常収益のうち「財務収益」、「土地建物等貸付料収入」、「宿舎貸付料収入」、「寄附金収益」、「その他経常収益」

（２）損益計算書の臨時利益は、決算報告書上は「その他収入」に含まれております。

（３）損益計算書の「一般管理費」、その他経常費用のうち財務費用の「支払手数料」及び「その他経常費用」は、決算報告書上は業務経費の「その他の経費」に含まれております。

決　算　報　告　書

（平成２９年４月１日～平成３０年３月３１日）

【独立行政法人　国立病院機構】　（単位：円）

区　　分	共通			
	予 算 額	決 算 額	差　　額	備　　考
収入				
運営費交付金	11,524,667,000	11,916,545,361	391,878,361	
長期借入金等	55,800,000,000	55,800,000,000	0	
業務収入	3,469,415,000	4,071,897,138	602,482,138	預り金による収入が増加したこと等による
その他収入	0	9,219,561,172	9,219,561,172	資産運用の戻入を行ったこと等による
計	70,794,082,000	81,008,003,671	10,213,921,671	
支出				
業務経費				
診療業務経費	－	－	－	
教育研修業務経費	－	－	－	
臨床研究業務経費	－	－	－	
その他の経費	35,823,636,000	42,085,131,623	6,261,495,623	経費が計画より増加したこと等による
施設整備費	69,579,787,000	14,976,581	△ 69,564,810,419	計画時では法人共通に計上していたことによる
借入金償還	47,821,906,000	48,576,906,546	755,000,546	
支払利息	4,283,191,000	3,831,659,473	△ 451,531,527	計画時の金利より借入時の金利が低かったことによる
その他支出	2,315,098,000	9,951,615,705	7,636,517,705	資産運用の預入を行ったこと等による
計	159,823,618,000	104,460,289,928	△ 55,363,328,072	

（注）損益計算書の計上額と決算額の集計区分の相違の概要は、以下のとおりであります。

（１）損益計算書の以下の科目は、決算報告書上は「業務収入」に含まれております。

①　診療業務収益のうち「医業収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他診療業務収益」

②　教育研修業務収益のうち「看護師等養成所収益」、「研修収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他教育研修業務収益」

③　臨床研究業務収益のうち「研究収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他臨床研究業務収益」

④　その他経常収益のうち「財務収益」、「土地建物等貸付料収入」、「宿舎貸付料収入」、「寄附金収益」、「その他経常収益」

（２）損益計算書の臨時利益は、決算報告書上は「その他収入」に含まれております。

（３）損益計算書の「一般管理費」、その他経常費用のうち財務費用の「支払手数料」及び「その他経常費用」は、決算報告書上は業務経費の「その他の経費」に含まれております。

決　算　報　告　書

（平成２９年４月１日～平成３０年３月３１日）

【独立行政法人　国立病院機構】　（単位：円）

区　　分	合計			
	予 算 額	決 算 額	差　　額	備　　考
収入				
運営費交付金	14,450,916,000	14,450,916,000	0	
長期借入金等	55,800,000,000	55,800,000,000	0	
業務収入	963,985,271,000	969,503,213,972	5,517,942,972	
その他収入	0	9,612,469,015	9,612,469,015	資産運用の戻入を行ったこと等による
計	1,034,236,187,000	1,049,366,598,987	15,130,411,987	
支出				
業務経費				
診療業務経費	857,524,682,000	856,853,079,153	△ 671,602,847	
教育研修業務経費	6,573,320,000	7,119,598,094	546,278,094	
臨床研究業務経費	15,637,105,000	13,079,706,645	△ 2,557,398,355	経費が計画より減少したこと等による
その他の経費	35,823,636,000	42,085,131,623	6,261,495,623	経費が計画より増加したこと等による
施設整備費	69,579,787,000	75,514,638,061	5,934,851,061	整備費の年度内の支払額が計画より増加したことによる
借入金償還	47,821,906,000	48,576,906,546	755,000,546	
支払利息	4,283,191,000	3,831,659,473	△ 451,531,527	計画時の金利より借入時の金利が低かったことによる
その他支出	2,315,098,000	11,448,761,580	9,133,663,580	資産運用の預入を行ったこと等による
計	1,039,558,725,000	1,058,509,481,175	18,950,756,175	

（注）損益計算書の計上額と決算額の集計区分の相違の概要は、以下のとおりであります。

（１）損益計算書の以下の科目は、決算報告書上は「業務収入」に含まれております。

①　診療業務収益のうち「医業収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他診療業務収益」

②　教育研修業務収益のうち「看護師等養成所収益」、「研修収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他教育研修業務収益」

③　臨床研究業務収益のうち「研究収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他臨床研究業務収益」

④　その他経常収益のうち「財務収益」、「土地建物等貸付料収入」、「宿舎貸付料収入」、「寄附金収益」、「その他経常収益」

（２）損益計算書の臨時利益は、決算報告書上は「その他収入」に含まれております。

（３）損益計算書の「一般管理費」、その他経常費用のうち財務費用の「支払手数料」及び「その他経常費用」は、決算報告書上は業務経費の「その他の経費」に含まれております。

監 事 の 意 見

監　査　報　告

独立行政法人国立病院機構
　理事長　楠　岡　英　雄　殿

独立行政法人通則法（以下「通則法」という。）第19条第４項及び同法第38条第２項の規定に基づき、独立行政法人国立病院機構（以下「法人」という。）の第14期事業年度（平成29年４月１日から平成30年３月31日）の業務、事業報告書、財務諸表（貸借対照表、損益計算書、利益の処分に関する書類（案）、キャッシュ・フロー計算書、行政サービス実施コスト計算書及びこれらの附属明細書）及び決算報告書について監査を実施し、その方法及び結果を取りまとめたので、以下のとおり報告する。

Ⅰ　監査の方法及びその内容

各監事は、監査計画に基づき、理事長、理事、内部監査部門、業績評価部門その他職員（以下「役職員等」という。）と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、役員会その他重要な会議に出席し、役職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、本部及び施設において業務、財産の状況及び主務大臣に提出する書類を調査した。また、役員（監事を除く。以下「役員」という。）の職務の執行が通則法、個別法又は他の法令に適合することを確保するための体制その他法人の業務の適正を確保するための体制（以下「内部統制システム」という。）について、役職員等からその整備及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求めた。

さらに、当該事業年度に係る財務諸表及び決算報告書（以下「財務諸表等」という。）について検証するに当たっては、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適切な監査を実施しているかを監視及び検討するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めた。また、会計監査人から会社計算規則第131条で定める「会計監査人の職務の遂行に関する事項」と同様の事項の通知を受け、必要に応じて説明を求めた。

以上の方法に基づき、法人の当該事業年度に係る業務、事業報告書及び財務諸表等の監査を行った。

Ⅱ　監査の結果

１　法人の業務は、法令等に従い適正に実施され、また、中期目標の着実な達成に向け効果的かつ効率的に実施されているものと認める。

２　内部統制システムに関する業務方法書の記載内容は相当であると認める。また、内部統制システムに関する法人の長の職務の執行について、指摘すべき重大な事項は認められない。

３　役員の職務の執行に関する不正の行為又は法令等に違反する重大な事実は認められない。

４　財務諸表及び決算報告書に関する会計監査人新日本有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認める。

５　事業報告書は、法令に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。

Ⅲ　独立行政法人改革等に関する基本的な方針等過去の閣議決定において定められた監査事項について違反する重大な事実等は認められない。

平成３０年６月２１日

独立行政法人国立病院機構

監　事　伊勢浩祐

監　事　石尾　肇

会計監査人の意見

独立監査人の監査報告書

平成３０年６月２０日

独立行政法人国立病院機構
理事長　楠岡英雄　殿

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員　公認会計士　菅田啓之

指定有限責任社員
業務執行社員　公認会計士　伊澤賢司

指定有限責任社員
業務執行社員　公認会計士　田中友康

＜財務諸表監査＞
当監査法人は、独立行政法人通則法（以下「通則法」という。）第３９条の規定に基づき、独立行政法人国立病院機構の平成２９年４月１日から平成３０年３月３１日までの第１４期事業年度の損失の処理に関する書類（案）を除く財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、行政サービス実施コスト計算書、重要な会計方針、その他の注記及び附属明細書（関連公益法人等の計算書類及び事業報告書等に基づき記載している部分を除く。以下同じ。）について監査を行った。

財務諸表に対する独立行政法人の長の責任
独立行政法人の長の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の会計の基準に準拠して財務諸表（損失の処理に関する書類（案）を除く。以下同じ。）を作成し適正に表示することにある。これには、不正及び誤謬並びに違法行為による重要な虚偽の表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために独立行政法人の長が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

会計監査人の責任
当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の監査の基準に準拠して監査を行った。この監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。監査は、独立行政法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為が財務諸表に重要な虚偽の表示をもたらす要因となる場合があることに十分留意して計画される。
監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正及び誤謬並びに違法行為による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、独立行政法人の長が採用した会計方針及びその適用方法並びに独立行政法人の長によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。
当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。この基礎には、当監査法人が監査を実施した範囲においては、財務諸表に重要な虚偽の表示をもたらす独立行政法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為の存在は認められなかったとの事実を含んでいる。なお、当監査法人が実施した監査は、財務諸表の重要な虚偽の表示の要因とならない独立行政法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為の有無について意見を述べるものではない。

監査意見
　当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の会計の基準に準拠して、独立行政法人国立病院機構の財政状態、運営状況、キャッシュ・フローの状況及び行政サービス実施コストの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

＜損失の処理に関する書類（案）、事業報告書（会計に関する部分に限る。）及び決算報告書に対する報告＞
　当監査法人は、通則法第３９条の規定に基づき、独立行政法人国立病院機構の平成２９年４月１日から平成３０年３月３１日までの第１４期事業年度の損失の処理に関する書類（案）、事業報告書（会計に関する部分に限る。）及び決算報告書について監査を行った。なお、事業報告書について監査の対象とした会計に関する部分は、事業報告書に記載されている事項のうち会計帳簿の記録に基づく記載部分である。

損失の処理に関する書類（案）、事業報告書及び決算報告書に対する独立行政法人の長の責任
　独立行政法人の長の責任は、法令に適合した損失の処理に関する書類（案）を作成すること、財政状態及び運営状況を正しく示す事業報告書を作成すること並びに予算の区分に従って、一定の事業等のまとまりごとに決算の状況を正しく示す決算報告書を作成することにある。

会計監査人の責任
　当監査法人の責任は、損失の処理に関する書類（案）が法令に適合して作成されているか、事業報告書（会計に関する部分に限る。）が財政状態及び運営状況を正しく示しているか並びに決算報告書が予算の区分に従って、一定の事業等のまとまりごとに決算の状況を正しく示しているかについて、独立の立場から報告することにある。

損失の処理に関する書類（案）、事業報告書（会計に関する部分に限る。）及び決算報告書に対する報告
　当監査法人の報告は次のとおりである。
　(1) 損失の処理に関する書類（案）は、法令に適合しているものと認める。
　(2) 事業報告書（会計に関する部分に限る。）は、独立行政法人国立病院機構の財政状態及び運営状況を正しく示しているものと認める。
　(3) 決算報告書は、独立行政法人の長による予算の区分に従って、一定の事業等のまとまりごとに決算の状況を正しく示しているものと認める。

利害関係
　独立行政法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　　上